

2023年度

事業報告書

特定非営利活動法人 環境文明二十一

1 事業の成果

特定非営利活動法人の会員や寄付に支えられて、環境問題に関する政策提言、調査研究普及啓発、交流等に関する事業を行い、環境の保全に寄与する事業を順調に行いました。

2 事業の実施に関する事項

別紙 2023年度事業報告書のとおりです。

第2号議案 事業報告および活動計算に関する事項

2023年度 事業報告書

1. 事業活動方針

環境問題に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流等に関する事業を行い、環境の保全に寄与する。

2. 事業内容

(1) 環境問題に関する政策提言

1) 持続可能な脱炭素社会に向けた政策提言

内容：脱炭素に向けた動きが世界中で加速しているが、その実現にはかなりの困難が予測される。そうした中、当会として2023年8月に「地球沸騰時代の到来を招いた責任は、私たちにもある」を緊急声明として発信、2024年1月からは日本政府の脱炭素政策の改善を求めるキャンペーンを開始するなどした。また特に中小企業の脱炭素化に向けた意識と実践を促すとともに、効果的な政策の立案と実現に向けて、経営者「環境力」クラブでの活動等を通じて、政策提言や啓発活動を継続的に行った。

日時：2023年4月より随時

従事人員：4名

対象：政府、一般市民、企業等

2) 日本国憲法に環境（持続性）原則を導入することについての政策提言

内容：現在の政治状況を踏まえ、2019年9月にまとめた「日本国憲法に「環境（持続性）原則」を追加する提案（第五次案）」に関心ある政治家に直接説明し、また政党に郵送するなどの活動に留まった。

日時：2023年4月より随時

従事人員：3名

対象：一般市民、メディア、政党等

3) グリーン連合活動

内容：2015年6月に設立したグリーン連合の活動に対して、引き続き、幹事として、市民版環境白書（グリーン・ウォッチ）の発行支援、環境省との意見交換、勉強会等を他のNPOと連携して継続的に行った。特に今年度からは、環境NPOの社会的地位の向上のための勉強会や政策提言を他のNPOと連携して行った。

日時：シンポジウム2023年6月、環境省との意見交換会2024年3月、幹事会毎月

従事人員：3名

対象：会員および一般

(2) 環境問題に関する調査研究

1) 調査研究

①市民版環境白書 2024（グリーン・ウォッチ）の発行支援

内容：グリーン連合が設立以来継続している市民版環境白書の9冊目となる2024年版（電子版）の発行を支援した。

日時：2023年4月～2024年3月

従事人員：2名

対象：会員および一般

②「未来世代の権利に関する」（仮称）プロジェクト

内容：私たち現世代はCO2、核廃棄物、化学物質、自然資源の過剰使用など、様々なツケを将来世代に残しており、「未来世代の権利」を搾取しているに等しいことから、これを担保するには、「未来世代の権利」を社会制度の中に組み込む必要があるとの考え方の下、会員だけでなく、若者や会員外の有識者も参加して意見交換会を開催した。

また国連が2024年9月に未来サミットを開催することを受けて、12月28日に、未来世代宣言に対しての提案を国連事務局に送付した。

日時：2023年7月8日、9月16日、12月23日

対象：会員及び一般

2) 部会活動

①食と環境に関する部会（環境倫理部会）

一昨年より行っていた部会を継続して行い「消費者」としての提案を取りまとめ公表することを目指していたが、新規事業やプロジェクトが多く、深く掘り下げることができなかった。

(3) 環境問題に関する普及啓発

1) 会報の発行

内容：会報「環境と文明」を発行した。発行から3か月後にウェブ上での全文掲載を実施した。

	発行月	月毎のテーマ
2023年	4月号:	経営者「環境力」大賞発表会
	5月号:	危機迫る人類社会
	6月号:	将来世代へのツケ

	7月号:	間違っている気候変動政策
	8月号:	暑い夏の日に思うこと
	9月号:	「革新」と言われる技術の光と影
	10月号:	この30年を概観して①
	11月号:	この30年を概観して②
	12月号:	2023年を振り返る～積み重なる危機～
2024年	1月号:	COP28を終えて・・・
	2月号:	なぜ環境の悪化が続くのか
	3月号:	地域の新たな環境活動の動き

日時：毎月15日、年12回発行

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 環文ミニセミナーの開催

内容：コロナ感染拡大を契機に2020年9月より開始した1時間のオンラインセミナーを本年度も継続して開催し、会報の寄稿者による内容解説と意見交換を行った。

日時：第25回 2023.5.12 「カーボンプライシングと日本の気候変動政策」

第26回 2023.7.14 「何もしないでいたことが引き寄せた気候の危機」

第27回 2023.8.31 「気候変動対策を名目とした原子力政策の転換」

第28回 2023.10.12 「気候変動にかかわる革新技術」

第29回 2024.1.26 「戦争、難民、気候変動」

場所：オンライン開催

従事人員：4名

対象：会員および一般

3) 経営者「環境力」大賞の顕彰式及び発表会

内容：16回目となる「2023年度 経営者「環境力」大賞」の公募を行い、2024年1月15日に審査会を開催して6名を大賞に、2名を奨励賞に選考した。3月1日には顕彰式並びに発表会を開催した後、第二部では、
より、同氏が共同代表を務める国会議員連盟「超党派カーボンニュートラルを実現する会」の活動について話題提供を頂いた。

日時：2024年1月15日 審査会（オンライン開催）

2024年3月1日 顕彰式・発表会（オンライン併用開催）

場所：ホテル・グランドヒル市ヶ谷（顕彰式・発表会）

従事人員：5名

対象：会員および一般

4) 環境文明塾の開催

前年度最終回の文明塾を6月9日に対面で開催し、年度後半から新規の開催を予定していたが、環境力クラブ関係の事業者に対する研修事業が多く、開催できなかった。

5) シンポジウム等の開催

①グリーン連合シンポジウムの開催支援

内容：グリーン連合加盟の各団体から、テーマごとに環境の現状と課題、解決に向けた提案などについての話題提供を行った。

日時：2023年6月8日

場所：文京区民センター（オンライン併用開催）

従事人員：3名

対象：会員および一般

②経営者「環境力」クラブとの共催による中小事業者向け「脱炭素」公開セミナーの開催

内容：脱炭素に向けた取組が求められる中、中小事業者にはその理解が浸透していないことから、脱炭素への第一歩として「CO2の見える化の必要性と具体例の紹介」と題する公開セミナーを環境力クラブと共同で開催し、その必要性や各社の取り組み事例などを紹介した。

日時：2023年10月20日

場所：西武信用金庫昭島支店会議室（オンライン併用開催）

従事人員：4名

対象：企業会員並びに一般中小企業

③青梅市商工会議所主催の脱炭素セミナーへの協力

内容：中小事業者への脱炭素の必要性に対する理解を深めるため、青梅市商工会議所主催のセミナーで講師を務めた。

日時：2023年10月13日、12月14日

場所：青梅市商工会議所会議室

従事人員：2名

対象：青梅市内の中小企業

④「奈良の未来を考える」WEBセミナーへの協力

内容：奈良市地球温暖化対策地域協議会が主催、当会関西支部が協力したセミナーで講師を務めた。

日時：2024年2月3日

場所：オンラインによる開催

従事人員：2名

対象：奈良市民

6) 環境問題に関する「出前講座」の実施

環境問題への理解促進と活動への参加を促すために、無料の出前講座を企画したが、実施には至らなかった。

(4) 環境問題に関する交流

1) 全国交流大会

内容：当会設立30周年を記念し、「環境文明21を含めた日本の市民社会のこれまでと今後」と題したシンポジウムを開催した。[REDACTED]より「市民社会 日本と欧米を比較して」のテーマで話題提供の後、パネリスト3名によるディスカッション、続いて会場との意見交換を行った。また30周年記念パーティーを開催して会員との交流を深めた。

日時：2023年12月3日

場所：ホテル・グランドヒル市ヶ谷（オンライン併用開催）

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 経営者「環境力」クラブの活動

内容：本年度も総会、勉強会をオンラインにて開催し、企業の環境力の向上に繋げる活動を行った。更に昨年度のクラブ検討会での提案を受け、定例会を4回行ったほか、脱炭素に向けた中小企業の取組を促進すべく「脱炭素の取組の第一歩：CO2の見える化の必要性と具体例の紹介」と題した公開セミナーも開催した。

①総会・第1回勉強会（オンライン開催）

日時：2023年7月11日

話題提供：「地域の脱炭素化に向けた油藤の取組と地域との連携について」
[REDACTED]

②公開セミナー「脱炭素の取組の第一歩：CO2の見える化の必要性と具体例の紹介」

日時：2023年10月20日

場所：西武信用金庫昭島支店会議室（オンライン併用）

③定例会

第1回（5月25日）、第2回（7月11日総会后）、第4回（2024年1月31日）はオンラインにて、第3回（9月21日）は対面にて開催した。

従事人員：4名

対象：経営者「環境力」クラブ会員

3) エコツアーの開催

内容：2023年8月に開業した宇都宮ライトレール(LRT)に体験乗車し、敷設プロジェクト学識アドバイザー [REDACTED] より、開業に至るまでの主要論点、議論のポイント、国・自治体・市民団体の役割と動き、環境効果とコストなどについて講義を受けた。

日時：2023年11月17日

場所：宇都宮ライトレール及び宇都宮共和大学会議室（栃木県宇都宮市）

従事人員：3名

対象：会員及び一般

4) 環文サロン

内容：会員同士の交流を深め、参加者同士が気軽に会話できる場として、オンラインにて定期的にサロンを開催した。

日時：2023年7月7日、8月4日、9月8日、10月6日、11月10日、
2024年1月12日、2月9日、3月8日

場所：オンライン開催

従事人員：3名

対象：会員

5) 支部活動

①関西グループ

内容：地域の市民および市民団体等との交流・意見交換。エコサロン大阪の開催。

日時：随時開催

場所：奈良県、大阪府等

対象：会員および一般

②その他

内容：地域の市民および市民団体等との交流・意見交換の開催。

日時：不定期

対象：会員および一般

(5) その他

1) インターンの受け入れ

内容：SOMPO 環境財団の CSO ラーニング制度を活用し、インターンを 1 名受け入れた。

今年度もオンラインと対面を併用しての受け入れとなった。

日時：2023 年 6 月～2024 年 1 月

場所：環境文明 2 1（オンライン併用研修）

2) インターン卒業生のネットワーク構築

内容：現役インターンと過去のインターン生とのコミュニケーションを進め、インターン経験者同士の情報交換と環境活動への参加の促進を目的に、昨年同様に意見交換会をオンラインにて開催した。

日時：2023 年 8 月 6 日

従事人員：2 名

3) 正会員との意見交換会の開催

内容：2023 年に設立 30 周年を迎えることから、今後の活動の方向を考える基礎とするため、オンライン会合を開催しこれまでの活動に対する会員の意見を聞いた。

結果は会報（2023 年 5 月号）に掲載。

日時：2023 年 4 月 14 日、21 日

従事人員：4 名

対象：環境文明 2 1 正会員

4) 会員の状況

2024 年 4 月末現在	266 名	(正会員 68、学生 0、賛助個人 152、団体 11、企業 17、購読 17、サポーター 1)
2023 年 4 月末現在	282 名	(正会員 71、学生 0、賛助個人 164、団体 11、企業 17、購読 18、サポーター 1)
2022 年 4 月末現在	290 名	(正会員 74、学生 1、賛助個人 168、団体 11、企業 18、購読 17、サポーター 1)
2021 年 4 月末現在	304 名	(正会員 71、学生 1、賛助個人 181、団体 13、企業 19、購読 16、サポーター 3)
2020 年 4 月末現在	320 名	(正会員 74、学生 0、賛助個人 194、団体 13、企業 19、購読 17、サポーター 3)
2019 年 4 月末現在	318 名	(正会員 72、学生 0、賛助個人 198、団体 13、企業 18、購読 13、サポーター 4)
2018 年 4 月末現在	331 名	(正会員 69、学生 2、賛助個人 214、団体 13、企業 19、

		購読 14)
2017 年 4 月末現在	340 名	(正会員 68、学生 4、賛助個人 218、団体 15、企業 20、 購読 15)
2016 年 4 月末現在	359 名	(正会員 69、学生 6、賛助個人 229、団体 15、企業 25、 購読 15)
2015 年 4 月末現在	382 名	(正会員 70、学生 6、賛助個人 247、団体 15、企業 26、 購読 18)

2023年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A)	経常収益		
1	受取会費		4,756,400
	正会員受取会費	595,200	
	賛助会員受取会費	3,793,400	
	サポーター受取会費	3,000	
	購読会費	364,800	
2	受取寄附金		6,956,950
	受取寄附金	6,956,950	
3	受取助成金等		1,730,000
	受取助成金(環境力クラブ、環境力大賞)	1,680,000	
	SOMPO環境財団CSOラーニング	50,000	
4	事業収益		0
5	その他の収益		5,058
	受取利息	58	
	雑収入	5,000	
	経常収益計		13,448,408
(B)	経常費用		
1	事業費		3,667,032
	(1) 人件費		
	給料手当	3,081,940	
	法定福利費	318,976	
	通勤費	266,116	
	(2) その他経費		5,218,158
	諸謝金	317,747	
	印刷製本費	854,770	
	会議費	439,605	
	旅費交通費	43,520	
	通信運搬費	756,228	
	消耗品費	143,854	
	水道光熱費	129,240	
	家賃	2,160,000	
	貸借料	249,944	
	諸会費	10,000	
	図書研究費	113,250	
	事業費計		8,885,190
2	管理費		314,138
	(1) 人件費		
	給料手当	228,335	
	法定福利費	74,801	
	通勤費	3,176	
	福利厚生費	7,826	
	(2) その他経費		818,435
	印刷製本費	7,711	
	会議費	41,284	
	旅費交通費	1,532	
	通信運搬費	213,616	
	消耗品費	75,857	
	水道光熱費	14,361	
	家賃	340,000	
	貸借料	28,084	
	保険料	9,880	
	諸会費	10,000	
	支払手数料	55,419	
	雑費	20,691	
	管理費計		1,132,573
	経常費用計		10,017,763
	当期経常増減額 (A) - (B) . . . ①		3,430,645
(C)	経常外収益		
	経常外収益計		0
(D)	経常外費用		
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額 (C) - (D) . . . ②		0
	税引前当期正味財産増減額 ①+② . . . ③		3,430,645
	法人税、住民税及び事業税 . . . ④		8
	前期繰越正味財産額 . . . ⑤		7,238,191
	次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		10,668,828

2023年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	10,171,708	
	未収金	16,600	
	前払金	446,663	
	流動資産合計・・・①		10,634,971
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	一括償却資産	102,666	
	(2)無形固定資産		
	(3)投資その他の資産		
	敷金	500,000	
	固定資産合計・・・②		602,666
【A】	資産合計 ①+②		11,237,637
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	514,350	
	前受金	19,200	
	預り金	35,259	
	流動負債合計・・・③		568,809
2	固定負債		
	長期借入金		
	退職給付引当金		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		568,809
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額		7,238,191
	当期正味財産増減額		3,430,637
	正味財産合計		10,668,828
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		11,237,637

2023年度 財産目録

特定非営利活動法人環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金		10,171,708	
	手元現金	51,649		
	ゆうちょ銀行振替貯金	3,506,657		
	三菱FJ銀行普通預金	6,311,329		
	ゆうちょ銀行普通預金	300,965		
	西武信金普通預金	1,108		
	未収金		16,600	
	2023年度購読会費	9,600		
	懇親会参加費	7,000		
	前払金		446,663	
	家賃	200,000		
	保険料	9,691		
	賃借契約金	198,082		
	アプリケーション使用料	10,890		
	会議室使用料	28,000		
	流動資産合計・・・①			10,634,971
2	固定資産			102,666
	(1)有形固定資産			
	什器備品		102,666	
	ファイルサーバ	102,666		
	(2)無形固定資産			
	(3)投資その他の資産			500,000
	敷金		500,000	
	事務所	500,000		
	固定資産合計・・・②			602,666
【A】	資産合計 ①+②			11,237,637
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金		514,350	
	3月分給与	250,066		
	3月分通勤費	26,970		
	2,3月分社会保険料	121,440		
	3月分水道光熱費	10,193		
	2,3月分通信運搬費	43,123		
	3月分賃借料	5,699		
	3月分印刷製本費	52,800		
	3月分旅費交通費	2,331		
	3月分消耗品費	1,728		
	前受金		19,200	
	正会員会費	9,600		
	購読会費	9,600		
	預り金		35,259	
	雇用保険料	13,889		
	源泉徴収税	15,670		
	住民税	5,700		
	流動負債合計・・・③			568,809
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】	負債合計 ③+④			568,809
【B-2】	正味財産合計 【A】-【B-1】			10,668,828

2023年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人環境文明二十一

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

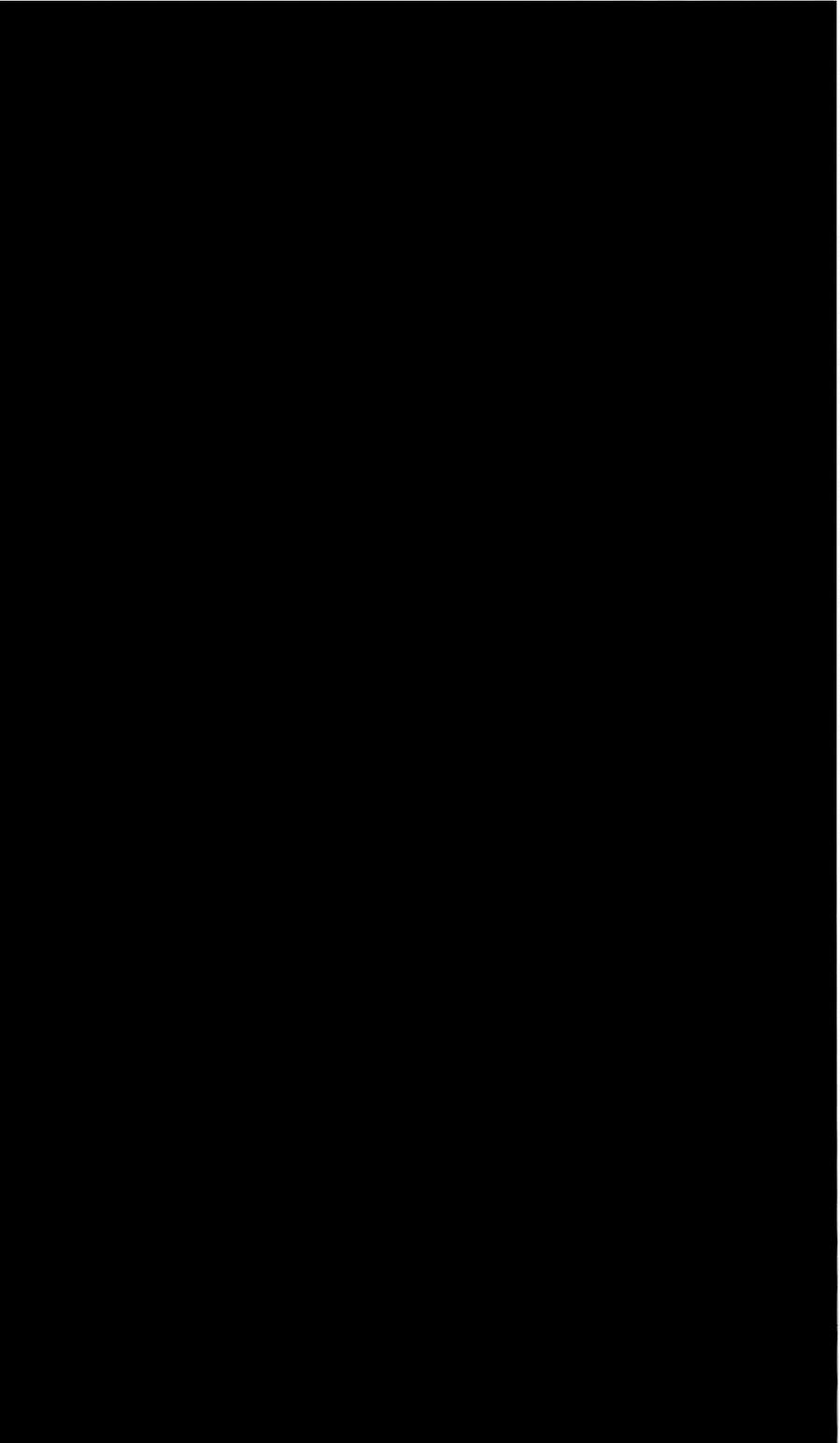
2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○(理事)・監事	フジムラ コノエ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		藤村 コノエ		
2	○(理事)・監事	アラタ テツジ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		荒田 鉄二		
3	○(理事)・監事	イムラ ヒデフミ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		井村 秀文		
4	○(理事)・監事	ウエダ カツロウ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		上田 勝朗		
5	○(理事)・監事	クドウ タイコ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		工藤 泰子		
6	○(理事)・監事	コノミ キクコ	2022年 4月 1日 ～ 2023年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		許斐 喜久子		
7	○(理事)・監事	シバヤマトクイチロウ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		柴山 徳一郎		
8	○(理事)・監事	スギウラジュンキチ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		杉浦 淳吉		
9	○(理事)・監事	タサキ トモヒロ	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田崎 智宏		
10	○(理事)・監事	タナカ ミツル	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田中 充		

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

（2024年3月31日現在）

特定非営利活動法人 環境文明二十一

	氏名	
1	藤村 コノエ	
2	井村 秀文	
3	上田 勝朗	
4	埋田 基一	
5	許斐 喜久子	
6	柴山 徳一郎	
7	原 剛	
8	松尾 友矩	
9	工藤 泰子	
10	中山 茂	
11	田中 充	